

【氏 名】山寺 三知 (ヤマデラ ミトシ)

【職 名】教授

【学 位】修士 (文学)

【生年月日】昭和 45 (1970) 年 8 月 14 日

【本学就任】平成 14 (2002) 年 4 月 1 日

【略 歴】國學院大學文学部卒業

國學院大學文学研究科博士課程前期修了

國學院大學文学研究科博士課程後期単位取得退学

【専門分野】漢文学、中国文学、中国語

【担当科目】漢文学概説 I・II、漢文学講読 A・B、中国語展開 I・II、国文総論、国文基礎演習、漢文学演習、卒業論文 I、卒業論文 II

【所属学会】日本中國學會、社団法人東洋音楽学会、國學院大學中國學會

【研究テーマ】中国古代における音楽文化の歴史的研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
翻 刻	単 著	「日本雅楽の主要源流として見たる唐代音楽の楽器・楽律・楽曲の全貌」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 37	令 2.3
翻 刻	単 著	「日本楽器学試論—楽器分類法」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 39	令 4.3
著 書	共 著	『歴史学としての日本音楽史研究』	和泉書院	令 4.7
翻 刻	単 著	「唐宋代南蛮三国 (ビルマ・ジャワ・カンボジア) の楽器」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 40	令 5.3
翻 刻	単 著	「七絃琴雜記 附、招提寺東塔遺材の琴」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 41	令 6.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『尺八古琴考』	上海音楽學院出版社	平 17.7
著 書	共 著	『楽は楽なり II 中国音楽論集 古楽の復元』	好文出版	平 19.3
著 書	共 著	『黄鐘大呂』	文化藝術出版社	平 27.11
著 書	共 著	『『隋書』音楽志訳注』	和泉書院	平 28.2
著 書	共 著	『林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺』	関西大学出版部	平 29.3

【最近の社会的活動】

科研費 基盤研究 (B) (研究課題番号 21H00509、代表：関西大学 長谷部剛) 研究分担者 (令和 3 年度～現在)

科研費 基盤研究 (C) (研究課題番号 18K00156) 研究代表者 (平成 30 年度～現在)

中京大学 先端共同研究機構文化科学研究所 特任研究員 (令和元年度～現在)

【氏 名】月岡 道晴（ツキカ ミチル）

【職 名】教授

【学 位】修士（文学）

【生年月日】昭和 50 年（1975）2 月

【本学就任】平成 16 年（2004）5 月

【略 歴】國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

【専門分野】萬葉集研究

【担当科目】国文総論（オムニバス形式）、国文基礎演習、卒業論文 I・II、伝承文学概説 I・II、  
日本文学講読 A、国語学講読 A・B、文芸創作展開 C

【所属学会】上代文学会理事、美夫君志会理事、萬葉学会会員、古代文学会会員、日本文学協会会員

【研究テーマ】柿本人麻呂の作品研究、上代日本文学における文字表現の研究、古代文学における付属語  
の研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度（5 点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事	國學院雑誌 120 巻 11 号	令和元年 11 月
論文	単著	学界の動向・上代韻文「テキストとしての『萬葉集』／テキストからの万葉歌」	文学・語学 229 号	令和 2 年 9 月
論文	単著	万葉歌における来歴表現について—贈物歌の形式を中心に—	萬葉集研究第 41 集	令和 4 年 2 月
論文	単著	萬葉集卷十三は替え歌歌集か—類歌性や無名性、歌の分離接合などから—	萬葉集研究第 42 集	令和 5 年 3 月
論文	単著	万葉歌の表記における訓仮名の位相—一人麻呂歌集を中心に—	古代文学 63 号	令和 6 年 3 月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】（5 点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	夢に姿を見る—一人麻呂歌集卷十・二二四一歌の訓みをめぐって—	國學院雑誌 115 巻 10 号	平成 26 年 10 月
論文	単著	近江荒都歌の構造と視点—「いかさまに思ほしめせか」と「諾しこそ」—	美夫君志 91 号	平成 27 年 11 月
論文	単著	梓弓と真弓—久米禪師と石川郎女との問答歌—	国語と国文学 93 巻 11 号	平成 28 年 11 月
論文	単著	「不知代経浪乃去邊白不母」—宇治河邊作歌から見る人麻呂の表記態度について—	上代文学 118 号	平成 29 年 4 月
論文	単著	選択的表現としての万葉集の仮名遣い	古代文学 57 号	平成 30 年 3 月

**【最近の社会的活動】**

日本歌人クラブ北海道ブロック長（令和3～現在）

北海道新聞「新・北のうた暦」連載（月2～3回、平29.3～現在）

北海道新聞「月岡道晴先生の記紀万葉よもやま話①～⑦」（令和2年9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、令和3年1月13日、2月10日、3月10日）

日本現代詩歌文学館振興会評議員（平成29.3～現在）

【氏 名】秋山 晴人 (アキヤマ ハルト)  
 【職 名】教授 (国文学科)  
 【学 位】学士 (教育学)  
 【生年月日】昭和 29 (1954) 年 4 月 12 日  
 【本学就任】平成 28 (2016) 年 4 月 1 日  
 【略 歴】北海道教育大学札幌分校・小学校課程 (国文学・国語科教育学専攻) 卒業  
 札幌市立山鼻小学校教諭  
 札幌市教育委員会指導主事  
 札幌市立厚別通小学校校長・札幌市立三角山小学校校長

【専門分野】国語科教育法、学校経営、教員養成  
 【担当科目】教育課程論、教育方法論(国語)、国語科教育方法、国語概説、国語科指導法、教育相談、生徒指導、教育実習 I・II、教育実践演習、国文総論、国文基礎演習、卒業論文 I・II  
 【所属学会】全国大学国語教育学会、日本国語教育学会、北海道国語教育連盟  
 【研究テーマ】言語意識を高める国語科教育の在り方に関する研究  
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	国語科「読むこと」における「言語活動」についての一考察	『國學院大學北海道短期大学部紀要』39	令 4.3
論文	単著	学習指導要領国語科編における文学の位置付けとその指導のあり方についての考察—戦後初期の教育動向を中心に—	『國學院大學北海道短期大学部紀要』40	令 5.3
論文	単著	読むことの実相と課題—文学の指導の在り方を中心に—	『國學院大學北海道短期大学部紀要』41	令 6.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『新しい学力観に立つ授業展開のポイント 国語科』	東洋館出版社	平 6.8
論 文	共 著	「子供の自己実現につながる学習指導に関する研究」	『札幌市教育研究所研究紀要』20	平 10.3
論 文	共 著	「子どもの学習状況に関する比較研究～日米の子どもの学習状況の相違」	『札幌市教育研究所研究紀要』21	平 11.3
著 書	共 著	『教育改革の中の子どもたち～生活・人間関係・自己像・学校の視点から』	東洋館出版社	平 15.3
論 文	共 著	「教員 10 年経験者研修の評価研究：参加者の視点から」	『北海道教育大学教育実践総合センター紀要』7	平 18.3

【最近の社会的活動】

札幌市教育委員会 教科用図書選定審議会小学校部会 (国語科) 委員長 (平 22.4)  
 札幌市教育委員会 札幌市小学校教育課程編成の手引(国語科編)作成委員長 (平 22.4)  
 札幌市小学校長会 事務局研究部長 (平 23.4～平 25.3)  
 北海道国語教育連盟 常任委員 (平 23.4～平 27.3)  
 札幌市小学校長会 副会長 (平 25.4～平 27.3)  
 札幌市 PTA 協議会副会長 (平 26.4～平 27.3)  
 札幌市教育委員会 新たな「札幌市教育振興基本計画」検討会議委員 (平 26.4～平 27.3)  
 滝川市立江陵中学校校内研修助言者 (令元.11)

【氏 名】堀越祐一

【職 名】教授

【学 位】博士（歴史学）

【生年月日】昭和 41 年（1966 年）12 月 3 日

【本学就任】令和 2 年（2020 年）4 月 1 日

【略 歴】國學院大學文学部史学科卒業

國學院大學大学院文学研究科博士課程前期修了

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位満期取得退学

【専門分野】日本中近世政治史

【担当科目】国文総論 国文基礎演習 日本史概論 I 史学導入演習 I・II 史学入門 A 史学演習 A・B 史料講読

【所属学会】國史学会 日本古文書学会 織豊期研究会

【研究テーマ】豊臣政権論

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度（5 点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
史料紹介	単著	「國學院大學図書館所蔵『南都興福寺等文書』の解題と翻刻	『國學院大學校史・学術資産研究』11 号	令 1.3
論文	単著	「関ヶ原合戦における石田三成と毛利輝元」	『國學院大學校史・学術資産研究』12 号	令 2.3
論文	単著	「伊達政宗の絶縁状」	『滝川国文』37 号	令 3.3
論文	単著	「石田三成と関ヶ原合戦 —『情報』の観点から西軍敗北の理由をさぐる—」	『滝川国文』39 号	令 5.3
論文	単著	「羽柴秀吉の北近江・播磨支配に関する一考察」	『滝川国文』40 号	令 6.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】（5 点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	『消された秀吉の真実』	柏書房	平 23.5
著書	共著	『豊臣政権の正体』	柏書房	平 26.5
著書	共著	『秀吉研究の最前線』	洋泉社	平 27.8
著書	共著	『家康伝説の嘘』	柏書房	平 27.11
著書	単著	『豊臣政権の権力構造』	吉川弘文館	平 28.3

【最近の社会的活動】

財団法人滝川市生涯学習振興会講座リブラーン講師

【氏 名】森 悟朗 (モリゴロウ)  
 【職 名】准教授 (国文学科)  
 【学 位】修士 (宗教学)  
 【本学就任】平成 25 (2013) 年 4 月 1 日  
 【略 歴】慶應義塾大学文学部人間関係学科社会学専攻卒業 (平成 9.3)  
 國學院大學大学院文学研究科博士課程前期神道学専攻修了 (平成 15.3)  
 國學院大學大学院文学研究科博士課程後期神道学専攻単位取得退学 (平成 18.3)  
 國學院大學研究開発推進センター助手 (平成 18.4～19.3)  
 國學院大學研究開発推進機構助教 (平成 19.4～25.3)  
 國學院大學研究開発推進機構共同研究員 (平成 25.4～現在)

.....  
 【専門分野】宗教民俗学、宗教社会学、日本近現代宗教史研究  
 【担当科目】国学 I・II、日本史概論 B、日本の伝統文化 (日本の伝統と文化)、神道学・宗  
 教学演習 A・B、国文基礎演習、卒業論文 I、卒業論文 II  
 【所属学会】日本宗教学会、北海道史研究協議会  
 【研究テーマ】近現代日本の民俗宗教の宗教民俗学的・宗教社会学的研究。特に近年は神社・  
 寺院に関わる民俗宗教と観光との歴史的・社会的関係の研究や、北海道の神社  
 の研究など。

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	神田より子編著『鳥海山麓遊佐の民俗』(第 5 章第 3 節「藤崎の年中行事―植林の記憶をめぐって―」執筆)	遊佐町教育委員会	平 18.3
著 書	共 著	森悟朗・新井大祐・大東敬明『言説・儀礼・参詣―〈場〉と〈いとなみ〉の神道研究―』(第 3 部「参詣篇―神社と参詣・観光―」執筆)	弘文堂	平 21.3
著 書	共 著	山中弘編著『宗教とツーリズム―聖なるものの変容と持続―』(第 2 章「〔湘南〕の誕生と江の島の変容」執筆)	世界思想社	平 24.7
著 書	共 著	長谷部八朗編著『「講」研究の可能性』(「神風講社と浪花講・三都講・一新講社」執筆)	慶友社	平 25.5
研究ノート	単 著	「北海道の切株・棒杭神社についての覚書―『北海道神社庁誌』を中心に―」	『滝川国文』34 号	平 30.3

【最近の社会的活動】

滝川市文化財保護審議会委員 (平 29.4～現在)  
 北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師 (平成 26.11～28.9)  
 一般財団法人滝川生涯学習振興会市民講座「リブラーン」講師 (平 25.9～現在)  
 國學院大學北海道短期大学部公開市民講座「オープンカレッジ」講師 (平 25.7～現在)  
 「いしかり市民カレッジ」講師 (令 5)  
 北海道神社庁中堅神職講習会講師 (平 25.6～現在)

【氏 名】 渡辺 開紀 (ワタベ カキ)

【職 名】 准教授 (国文学科)

【学 位】 修士 (文学)

【生年月日】 昭和 55 (1980) 年 4 月 22 日

【本学就任】 平成 29 (2017) 年 4 月 1 日

【略 歴】 國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程後期満期退学

【専門分野】 古典文学

【担当科目】 古典語の基礎 A、古典語の基礎 B、日本文学講読 B、日本文学演習 B、日本語の基礎、国文基礎演習、卒業論文 I、卒業論文 II

【所属学会】 國學院大學國文学会 (委員)、日記文学会 (運営委員)、中古文学会、全国大学国語国文学会

【研究テーマ】 『和泉式部日記』 を中心とする王朝文学

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	『和泉式部日記』七夕贈答歌をめぐる試論	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令 2.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の引歌	『滝川国文』38	令 4.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の引歌表現「石見渦」	『中古文学』109	令 4.5
論 文	共 著	応永本『和泉式部物語』注釈稿 (1)	『國學院大學北海道短期大学部紀要』41	令 6.3
論 文	単 著	モノから読む『和泉式部日記』	『平安朝の文学と文化』(川村裕子編 武蔵野書院)	令 6.4

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	『和泉式部日記』における遁世感の意義	『國學院大學大学院紀要』39	平 20.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の特質	『日記文学研究誌』11	平 21.3
論 文	単 著	応永本『和泉式部物語』の矛盾	『平安文学研究』1	平 21.9
論 文	単 著	『和泉式部日記』の服飾表現	『文学・語学』199	平 23.3

【最近の社会的活動】

財団法人 滝川市生涯学習振興会講座リブローン講師〔古典文学〕(平 29.4～現在)

UHB 大学一般教養講座 講師 (令 2.9、令 5.1)

岩見沢市 源氏物語を楽しむ会『源氏カフェ』 講師 (令 5.5～現在)

公益社団法人 滝川地方法人会 新春講演会 講師 (令 6.1)

【氏 名】ニノ宮靖史 (ニノミヤ ヤスシ)

【職 名】教授

【学 位】修士 (言語学)

【生年月日】昭和 43 (1968) 年 3 月 14 日

【本学就任】平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】上智大学外国語学部英語学科卒業

上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了

國學院大學文学部兼任講師

.....  
【専門分野】音声学、言語学、言語教育、異文化理解

【担当科目】英語リーディング演習、英語基礎演習、日英語比較論、英文法、  
言語学概論、ゼミナール I、ゼミナール II、総合教養

【所属学会】日本音声学会、大学英語教育学会、言語研究学会

【研究テーマ】音と文字の関係、英語・日本語の音声分析、言語教育における指導法、  
各国の文化

.....  
【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和5年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単 著	「書記行動における書記・文字・用具・表示対象の順相関と逆相関」	『Walpurgis: 國學院大學外国語文化学科紀要』2019	平 31.2
論文	共 著	「料理における人名—視覚的記号の指示の観点から」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』36	平 31.3
論文	共 著	「文字論から見た正書法」	『言語の世界』37-2	令 元.12
論文	共 著	「文字論・記号論から見たモールス符号」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令 2.3
論文	共 著	「和製英語の原語回帰」	『言語の世界』40-1	令 4.6

【平成30年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『中学総合的研究 三訂版』	旺文社	平 25.1
論文	単 著	「大文字・小文字の多重性—現代の英語表記を例にして」	『國學院雑誌』115-11	平 26.11
論文	共 著	「書記装置による絵文字の符号化・デジタル化」	『言語の世界』33-1	平 27.6
論文	単 著	「記号の転用—文字の質的变化の観点から」	『言語の世界』33-2	平 27.11
論文	共 著	「視覚印象的記号とその指示物が持つアイデンティティー」	『言語の世界』36-1	平 30.6

【最近の社会的活動】

公益財団法人国際文化会館 会員 (平 12.4～現在)

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター 会員(平 29.4～現在)

言語研究学会 会長 (令 6.8～現在)

【氏 名】日比生 究 (ヒビウキム)

【職 名】教授

【学 位】教育学士

【生年月日】昭和 36 (1961) 年 3 月 13 日

【本学就任】令和 6 (2024) 年 4 月 1 日

【略 歴】北海道教育大学教育学部旭川校中学校教員養成課程卒業

北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課長 空知教育局義務教育指導監

北海道岩見沢市立緑中学校長 岩見沢市立教育研究所専任所員

【専門分野】教科教育学 (理科)、教育行政学、学校経営論

【担当科目】教育原理、教育行政学、介護等体験、ゼミナール I・II、教育実習 I・II、教職入門、  
教職実践演習、道徳教育論、教育社会学、総合教養

【所属学会】日本教育工学会、全国海外子女教育国際理解教育研究協議会

【研究テーマ】令和の日本型学校教育の実現を目指す教員養成の在り方についての研究  
教員の資質能力の向上に資する校内研究の在り方についての研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「令和 3 年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市 立教育研究所	令 4.2
論 文	共 著	「令和 4 年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市 立教育研究所	令 5.2
著 書	共 著	岩見沢市デジタル社会科副読本 「いわみざわ」	岩見沢市教育委員会	令 5.8
論 文	共 著	「令和 5 年度『研究紀要』」	事業報告書・岩見沢市 立教育研究所	令 6.2

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
指導資料	共 著	「理科教育指導資料『ものづくり と環境』第 34 集	北海道立理科教育セ ンター	平 14.3
論 文	単 著	「総合的な学習の時間におけるウ ェビングの活用」	北海道立理科教育セ ンター	平 14.3
指導資料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中 学校教育課程編成の手引」	北海道教育委員会	平 20.10
指導資料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中 学校教育課程編成の手引」	北海道教育委員会	平 21.7
指導資料	共 著	「小学校教育課程編成の手引」「中 学校教育課程編成の手引」	北海道教育委員会	平 22.8

**【最近の社会的活動】**

北海道雨竜高等養護学校「学校運営協議会」委員長（令 6.6～現在）

北海道滝川西高等学校「学校関係者評価委員会」委員長（平令 6.6～現在）

北海道教育史第4期編纂委員（令 5.6～現在）

岩見沢市男女共同参画推進委員会委員（令元.4～令 3.3）

岩見沢市通学区域審議会委員（令 2.4～令 3.3）

岩見沢市教科用図書調査委員会委員長（令 2.4～令 2.7）

岩見沢市適正配置計画推進委員会委員（令元.4～令 2.3）

岩見沢市小中学校長会長（令元.4～令 2.3）

【氏 名】 Timothy M. Blankley (ティモシー・M・ブランクリー)

【職 名】 准教授 (総合教養学科)

【学 位】 Master of Education (TESOL)

【生年月日】 昭和 37 (1962) 年 5 月 16 日

【本学就任】 平成 9 (1997) 年 4 月 1 日

【略 歴】 The University of Southern Queensland  
.....

【専門分野】 applied linguistics (応用言語学)

【担当科目】英語コミュニケーションA、英語コミュニケーションB、英語コミュニケーションC、TOEIC Bridge、英語表現法、ゼミナールII、総合教養

【所属学会】 JALT (全国語学教育学会)

【研究テーマ】 TESOL (第二言語としての英語教授法)

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
学会発表	単 著	“Why bears are hunted—extensive reading with local texts”	全国語学教育学会研究大会	平 28.10
学会発表	単 著	“Changing Minds with the colored hats”	全国語学教育学会研究大会	平 29.10
学会発表	単 著	“Assumptions challenged, emotions engaged, and significance discovered”	CamTESOL 第 16 回 年次大会	平 30.2

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	“Interrogating code-switching in task-based language teaching”	<i>Language Studies</i> 21 (小樽商科大学)	平 25.3
学会発表	共 著	“Will it blend? —unboxing the product”	大学英語教育学会北海道支部研究会	平 26.11

【最近の社会的活動】

滝川市立高等看護学院講師 (英語、平 10.4～現在)

【氏 名】南 孝典 (ミナ 効典)

【職 名】准教授、キャリアセンター長

【学 位】修士 (教育学、社会学)

【生年月日】昭和 50 (1975) 年 2 月 13 日

【本学就任】令和 4 (2022) 年 4 月 1 日

【略 歴】文教大学人間科学部卒業

埼玉大学大学院教育学研究科修士課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得修了

【専門分野】哲学、倫理学、社会学

【担当科目】哲学、倫理学 (倫理学 A)、西洋哲学史 A・B、ゼミナール I・II、社会学、論理学、現代社会事象、西洋思想史、キャリア演習 A・B

【所属学会】日本哲学会、一橋大学哲学・社会思想学会、唯物論研究協会、東京唯物論研究会

【研究テーマ】生命倫理、現象学、存在論

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサー現象学を理解する際の避けがたい困難さについて」	『国学院大学北海道短期大学部紀要』40	令和 5 年 3 月
著書	共著	『生命の倫理学』	大月書店	令和 5 年 3 月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フッサーにとってカントを語ることの意義とは何か——『危機』と関連草稿における「カント批判」を中心に——」	『フッサー研究』6	平成 20 年 3 月
著書	共著	『西洋哲学の軌跡』	晃洋書房	平成 24 年 4 月
単著	共著	『危機に対峙する思考』	粹出版	平成 27 年 10 月
論文	単著	「事物からではなく世界から思考すること——フインクのカント論に関する一考察」	『唯物論研究年誌』23	平成 30 年 11 月

【最近の社会的活動】

【氏 名】山崎 皓介 (ヤマザキ コウスケ)

【職 名】助教

【学 位】博士 (法学)

【生年月日】平成 3 (1991) 年 2 月 8 日

【本学就任】令和 3 (2021) 年

【略 歴】北海道大学法学部 卒業

北海道大学大学院法学研究科法学政治学専攻修士課程 修了

北海道大学大学院法学研究科法学政治学専攻博士後期課程 修了

【専門分野】憲法

【担当科目】憲法 A、憲法 B、法学 (日本国憲法)、法学入門、ゼミナール I・II、総合教養 (分担)

【所属学会】日本公法学会、憲法理論研究会

【研究テーマ】違憲審査制、法的推論

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「公法判例研究」	『北大法学論集』70-6	令 2.3
論 文	単 著	「違憲判断の多様化・弾力化理論 (1)——過小包摂立法の違憲判断を 端緒として——」	『北大法学論集』71-1	令 2.5
論 文	単 著	「部分無効と立法者意思」	『憲法理論叢書 28 可 能性のさらなる開拓』	令 2.12
学会発表		「違憲審査の法的構造：試論」	北海道公法研究会	令 4.2
学会発表		「比較衡量の 4 要素——違憲審査 における法的推論の分析」	北海道公法研究会	令 5.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「アメリカにおける可分性の法理 について」	『北大法政ジャーナ ル』21・22	平 27.12

【最近の社会的活動】

北海道情報公開・個人情報保護審査会 (令 5.4～現在)

【氏 名】板垣 由美子

【職 名】助教

【学 位】修士（経済学）

【生年月日】昭和 57 年 2 月 8 日

【本学就任】令和 5 年 4 月 1 日

【略 歴】東京都立大学経済学部卒業

東京大学大学院経済学研究科修士課程修了

東京大学大学院経済学研究科博士課程単位修得満期退学

【専門分野】日本経済史、経営史

【担当科目】日本の経済／経済入門、経済理論入門／経済学、経済史入門、経済基礎演習、史学演習 A・B、ゼミナール I・II、総合教養

【所属学会】政治経済学・経済史学会、社会経済史学会

【研究テーマ】大正～昭和初期における北海道および地場企業、戦時期における流通統制および商工業者整備

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度（5 点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「瑞洋食品研究所における缶詰製造：日本アスパラガス株式会社の実態解明にむけて」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』41	令 6.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】（5 点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「酒類販売統制機関の実態－1941 年～1945 年における資金調整」	『歴史と経済』52 (1)	平 21.12
論文	単著	「酒類流通における流通統制の影響－酒類卸売業者の分析」	東京大学ものづくり経営研究センターディスカッションペーパーNo.338	平 23.3
論文	共著	「In quality among Industry and Companies: Comparison of Business Activities to Mitigate Climate Change in Japanese Consumer Industries(Part 1)」	The Japan Journal, Vol.12 NO.9	平 27.12
論文	共著	「In quality among Industry and Companies: Comparison of Business Activities to Mitigate Climate Change in Japanese Consumer Industries(Part 2)」	The Japan Journal, Vol.12 No10	平 28.1

【最近の社会的活動】

【氏 名】寺嶋 将 (テラシマ ショウ)

【職 名】助教 (総合教養学科)

【学 位】修士 (経済学)

【生年月日】平成 6 年 6 月 1 日

【本学就任】令和 6 年 4 月 1 日

【略 歴】國學院大學経済学部経済学科卒業

國學院大學大学院経済学研究科博士前期課程経済学専攻修了

税理士法人エー・ティー・オー財産相談室

.....  
【専門分野】会計学、租税法

【担当科目】会計学/会計入門、簿記/簿記の基礎、企業論/企業研究、ビジネス実務総論、経済基礎演習、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、総合教養

【所属学会】

【研究テーマ】財務会計、所得税法、相続税法、消費税法等

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	給与所得控除の現代的意義(学位論文)	國學院大學大学院経済学研究科経済学専攻	平 31.1

【最近の社会的活動】

【氏 名】菅原 健太 (スガハラ ケンタ)  
 【職 名】准教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)  
 【学 位】修士 (教育学)  
 【生年月日】昭和 56 (1981) 年 1 月 31 日  
 【本学就任】平成 30 (2018) 年 4 月 1 日  
 【略 歴】北海道大学教育学研究科博士後期課程単位取得退学

【専門分野】教育学

【担当科目】教育原理、幼児理解と教育相談の基礎、保育制度論、教育方法論、教育課程論、子ども家庭福祉、子ども家庭支援論、幼稚園実習指導

【所属学会】日本教育社会学会、北海道教育学会、北海道社会学会

【研究テーマ】青年期における自己意識と就業意識の表れ方について

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和5年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「言葉」の教育方法についての一考察—「幼稚園教育要領」の振り返りから—	豊岡短期大学紀要第17号	2020.2
論文	単著	教育課程の変遷から見る教育・保育の今日的課題—「教育相談」のあり方に注目して—	國學院大學北海道短期大学部紀要第37巻	2020.3
論文	単著	実習における「気づき」の言語化について—「保育所と幼稚園の違い」に注目して—	國學院大學北海道短期大学部紀要第41巻	2024.3

【平成30年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「教職課程「教育原理」におけるアクティブラーニングの意義と課題」	『豊岡短期大学論集』13	平成9年4月
論文	単著	「デューイ教育学における「学校という場」の現代的状況について」	『豊岡短期大学論集』14	平成30年4月
テキスト	単著	豊岡短期大学通信課程『教育原理別冊』	豊岡短期大学通信課	平成30年4月
テキスト	共著	豊岡短期大学通信課程『教育原理』	豊岡短期大学通信課	平成31年4月

【最近の社会的活動】

【氏 名】草薙 恵美子 (カサキ エミコ)

【職 名】教授

【学 位】教育学修士、理学修士

【生年月日】昭和 33 (1958) 年 4 月 19 日

【本学就任】平成 13 (2001) 年 4 月 1 日

【略 歴】奈良女子大学理学部化学科卒業

奈良女子大学大学院理学研究科化学専攻修士課程卒業

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程教育学専攻単位修得退学

【専門分野】発達心理学

【担当科目】発達心理学 I・II、教育心理学、臨床心理学、教職実践演習、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、子どもと環境、教育と福祉の基礎、保育実習指導Ⅲ、保育実習Ⅲ

【所属学会】Society for Research in Child Development、日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本保育学会、北海道心理学会、日本内分泌攪乱物質学会

【研究テーマ】子どもの気質発達、子どもの発達への環境化学物質暴露の影響

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度（5点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	日本語版「児童期中期における気質質問紙 (TMCQ)」の心理測定的性質	札幌医科大学医療人育成センター紀要, 11, 1-4.	令2年3月
学会発表	共 著	Effects of the home environment, exposure to metals, and food nutrition on temperament of Japanese children	The 32nd International Congress of Psychology	令3年7月
論 文	共 著	Levels of toxic and essential elements and associated factors in the hair of Japanese young children	Int J Environ Res Public Health, 20, 1186.	令5年1月
学会発表	共 著	Level of metals in deciduous teeth and the development of children's temperament	SRCD 2023 Biennial Meeting	令5年3月
学会発表	共 著	子どもの乳歯エナメル質中金属濃度と毛髪中金属濃度の関係	第2回環境化学物質3学会合同大会	令5年5月

【平成30年度以前の主な研究業績】（5点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	Children's Hair Mercury Concentrations and Seafood Consumption in Five Regions of Japan	Arch Environ Contam Toxicol, 74(2), 259-272.	平30年1月

【最近の社会的活動】

滝川市保健医療福祉推進市民会議委員（平成26年5月～現在）

北海道心理学会研究奨励賞選考委員会委員長（平成28年度）

【氏 名】田中一徳 (タカ カズノ)

【職 名】教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)

【学 位】修士 (教育学)

【生年月日】昭和 45 (1970) 年 7 月 17 日

【本学就任】平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】東京学芸大学教育学部人間科学課程生涯スポーツ専攻コミュニティスポーツ選修卒業  
東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻生涯スポーツ講座コミュニティスポーツ分野修了

【専門分野】ウエルネス、野外教育、体験学習、生涯スポーツ、レクリエーション

【担当科目】ディスカバリー北海道、健康科学、野外実習 (野外体験)、スポーツ演習 A・B、レクリエーション理論・実技、子どもと健康、保育内容 (健康)、留学・海外研修等による単位認定科目他

【所属学会】日本ウエルネス学会、日本野外教育学会、日本登山医学会、日本体育・スポーツ・健康学会

【研究テーマ】ウエルネスをテーマとした健康行動の測定および自然体験活動に関する研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「女子大学生を対象とした全身アロママッサージの心理的効果」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令 2.3
論文	共著	「スノーシュー歩行および雪洞作成後の雪洞滞在時における身体的ストレスの変化」	『登山医学』40	令 2.12
論文	単著	「自然を活かした園庭における遊びに関する安全教育の検討 : 保育者養成校における実践事例」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』38	令 3.3
論文	共著	「雪洞滞在時の手指及び足指加温が生理学的指標と主観的温度感覚に及ぼす影響」	『登山医学』41	令 3.12
論文	単著	「大学構内のアウトドアキャンパスにおけるソロキャンプが保育者志望学生に及ぼす影響について : 國短キャンパスアドベンチャープログラム (K-CAP) の実践事例」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』39	令 4.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「滝川市におけるノルディックウォーキングを用いた健康教育講座の効果に関する検討」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』33	平 28.3

論文	単著	「教職課程の学生を対象とした体育科教育における ICT 活用指導力に関する調査研究」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』34	平 29.3
論文	単著	「幼児期児童期における運動あそび指導の検討:滝川市内幼稚園・保育所・小学校連携推進研修会の実践事例」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』35	平 30.3
論文	共著	「外気温-3°Cにおける雪洞滞在時の生理的ストレスの変化」	『登山医学』38	平 30.12
論文	共著	「北海道道北地方におけるアウトドアレクリエーションが大学生の気分プロフィール(POMS)およびストレスに及ぼす影響」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』36	平 31.3

【最近の社会的活動】

北海道滝川市社会教育委員会 委員 (平 26.5～現在)

エフエムなかそらち, FM G'sky 番組審議委員長 (平 26.5～現在)

日本ウエルネス学会 理事 (平 28.4～現在)

一般社団法人滝川国際交流協会 理事 (令元.5～現在)

【氏 名】 今野道裕

【職 名】 教授

【学 位】 学士（教育学 北海道教育大学札幌分校小学校教員養成課程（国語科））

【生年月日】 1955年7月26日

【本学就任】 2021年4月

【略 歴】

1978年4月より 網走管内の小学校教諭を歴任

2006年3月 大空町立女満別小学校を退職

2006年4月 市立名寄短期大学（名称変更：現名寄市立大学）児童学科教授

2016年4月 名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科教授（学科4大化に伴う）

2021年3月 名寄市立大学を退職

2021年4月 國學院大學北海道短期大学部・児童教育学科幼児保育コース教授

現在に至る

.....  
【専門分野】 児童文化

【担当科目】 子どもと言葉・日本語の基礎・保育内容「言葉」・子どもと造形表現Ⅰ・子どもと造形表現Ⅱ  
総合表現Ⅰ・総合表現Ⅱ・教育と福祉の基礎・教職実践演習・保育実習指導Ⅱ

【所属学会】 北海道教育学会

【研究テーマ】 異年齢・異世代間交流におけるおもちゃ・遊びの役割  
北海道の人形劇の歴史と役割

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度（5点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成30年度以前の主な研究業績】（5点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	単著	「作ってあそべる製作ずかん ～3・4・5歳児の保育に～」	学研	2013年12月

【最近の社会的活動】

- ・北海道教育委員会幼児教育地域相談員
- ・北海道幼稚園教諭養成校協議会研修委員（北海道幼児教育連絡協議会研修委員兼務2021-）
- ・NPO 北海道人形劇協会副理事長（北海道人形劇フェスティバル開催(毎年)2019 中川(60<sup>th</sup>)他)
- ・NPO 芸術と遊び創造協会会員（2021-22 夏の芸術教育学校講師(東京)）
- ・人形劇公演及び手づくりおもちゃ講師

（10/20 札幌市中島児童会館「子どものまなび塾」11/3 大空町図書館・11/12 根室市図書館・12/15 北見ことばの教室・12/20 旭川市児童デイサービスきらり・4/22 中川町教育委員会・7/19 グループホームコスモス(滝川)・7/29 羽幌町子育てセンター・7/31 中川町図書館)

- ・札幌市中島児童館・こぐま座・やまびこ座資料室情報誌「MA・SO・BO 通信「本シェルジェ」執筆担当（2020年）

【氏 名】武石 英孝（タケイシ ヒデタカ）  
 【職 名】教 授  
 【学 位】教育学士  
 【生年月日】昭和 33（1958）年 11 月 28 日  
 【本学就任】令和 3（2021）年 4 月 1 日  
 【略 歴】北海道教育大学（札幌校）卒業  
 北海道立高等学校教諭（1981.4～2021.3）

【専門分野】美術（絵画制作）  
 【担当科目】子どもと環境、造形の基礎、造形表現Ⅰ・Ⅱ、保育内容（表現）、総合表現Ⅰ・Ⅱ  
 保育実習指導Ⅱ、教育と福祉の基礎  
 【所属学会】公益社団法人 日展、一般社団法人 光風会、一般社団法人 日本美術家連盟、  
 北海道美術協会、岩見沢美術協会  
 【研究テーマ】油彩絵画技法（ミクストメディアを含む）の表現方法について  
 【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度（5点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品	絵 画 (油彩)	特別企画展「武石英孝展」開催	岩見沢市 (岩見沢市絵画ホール)	令和2年7～9
		改組新第7回「日展」 特選受賞	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和2年10
		北海道文化奨励賞受賞	北海道 (文化局文化振興)	令和2年10
		改組新第8回「日展」出品。	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和3年10
		改組新第9回「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	令和4年10

【平成30年度以前の主な研究業績】（5点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作 品	絵 画 (油彩)	昭和53年より 北海道美術協会展出品（受賞5回）	北海道美術協会	昭和53年～
		平成15年より 光風会出品（受賞3回）	一般社団法人 光風会	平成15年～
		平成19年より 日展出品（令和2年特選受賞・令 和3年会友推挙）	公益社団法人 日展	平成19年～
		「命の脈動・武石英孝」展	市立小樽美術館企画	平成30年

【最近の社会的活動】

- ・岩見沢在作家展（岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館 企画展）出品
- ・さいとうギャラリー企画展（夏・冬）出品
- ・北海道美術協会中空知支部展・招待出品

【氏 名】秋元 彩佳（アキモト サヤカ）

【職 名】助教

【学 位】修士（音楽）

【生年月日】昭和 55（1980）年 8 月 19 日

【本学就任】令和 3（2020）年 4 月 1 日

【略 歴】東京藝術大学音楽学部声楽科卒業

東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽（独唱）専攻修了

札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師

【専門分野】音楽 声楽

【担当科目】ピアノ実技Ⅰ・Ⅱ、子どもと音楽表現、音楽の基礎、音楽表現Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅰ、総合表現Ⅰ・Ⅱ、教職実践

【所属学会】日本声楽発声学会

【研究テーマ】コロラトゥーラ技法、近現代フランス歌曲演奏法、子どもの歌

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度（5点まで）]

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
演奏	独唱	北見国際芸術祭	主催/北見国際芸術祭 実行委員会	令和元年 6 月
論文	単著	保育現場における子どもの歌の選 曲基準に関する一考察—子どもの 声域に着目して—	國學院大學北海道短 期大学部紀要第 37 卷	令和 2 年 3 月
論文	単著	小学校歌唱共通教材における伴奏 付けの一考察—北海道公立学校教 員採用候補者選考検査（音楽実技 検査）出題曲における簡易伴奏付 けを中心に—	國學院大學北海道短 期大学部紀要第 39 卷	令和 4 年 3 月
論文	単著	幼稚園教諭・保育士養成課程にお けるピアノ奏法理解への一考察— ピアノ奏法基本のアンケートを基 に—	國學院大學北海道短 期大学部紀要第 41 卷	令和 6 年 3 月
演奏	ソプラノ ソリスト	PMF2024 リンクアップ・コンサ ート	主催/公益財団法人パ シフィック・ミュージ ック・フェスティバル 組織委員会、札幌市 場所/札幌コンサート ホール Kitara 大ホー ル	令和 6 年 7 月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】（5 点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
演奏	独唱	Kitara & 札幌セレクション 北の 精鋭アーティストたち	主催/札幌コンサート ホール、(公財) 札幌 交響楽団	平成 22 年 11 月
演奏	独唱	穴澤彩佳・九嶋香奈枝ソプラノジ ョイントリサイタル(札幌市文化 芸術振興助成金対象事業)	主 催 / 声 楽 研 究 会 Lilies 場所/札幌サンプラザ コンサートホール	平成 23 年 7 月
演奏	ソプラノ ソリスト	札幌大谷大学第 7 回定期演奏会	主催/札幌大谷大学芸 術学部音楽科、札幌大 谷大学短期大学部音 楽科 場所/札幌コンサート ホール Kitara 大ホー ル	平成 24 年 11 月
教材 (CD)	独唱	こどものうた—誕生— 〈いのちのともだち〉	製作・発行/公益財団 法人 大谷保育協会	平成 26 年 8 月
論文	共著	教員・保育士養成課程における初 心者へのピアノ実技指導の一考察 —歌唱共通教材・こどものうたの 弾き歌いについて—	國學院大學北海道短 期大学部紀要第 35 卷	平成 30 年 3 月

【最近の社会的活動】

カワイうたのコンクール北海道大会審査員(平 26~平 31、令 3、令 6)

グランディール音楽コンクール うた・声楽部門審査員(令 4.12)

日本声楽発声学会(令 5.6~現在)

【氏 名】 春田 淳一(ハルタ ジュンイチ)  
 【職 名】 教授  
 【学 位】 教育学士  
 【生年月日】 昭和 29(1954)年 5 月 31 日  
 【本学就任】 平成 28(2016)年 4 月 1 日  
 【略 歴】 北海道教育大学教育学部卒業  
 滝川市教育委員会指導室長、指導参事  
 滝川市立江陵中学校校長  
 空知教育センター所長

.....  
 【専門分野】 社会科教育、道徳教育  
 【担当科目】 道徳教育論、社会概説、社会科指導法、生活概説、生活科指導法、  
 生徒指導とキャリア教育の基礎、小学校教育実習 I、職業研究 B、  
 ゼミナール A・B  
 【所属学会】 北海道社会科教育研究会、空知社会科教育研究会  
 【研究テーマ】  
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共著	「児童の立場に立った生徒指導とキャリア教育」	「國學院大學北海道短期大学部紀要」 37	令和 2.3
論 文	共著	「生徒指導上の諸課題」	「國學院大學北海道短期大学部紀要」 38	令和 3.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
研究紀要	共著	「豊かな言語活動を通して確かな国語の力を育む授業の究明」	北海道国語教育連盟	平成 26.10
研究紀要	共著	「『確かな学力』の育成を図る学習指導の在り方」	空知教育センター	平成 28.3
論 文	共著	「教育実習の質を高める指導～教育実習生の自己評価を通して～」	「國學院大學北海道短期大学部紀要」 34	平成 29.3

【最近の社会的活動】

滝川市教育委員会 教育委員・教育長職務代理者 (令和 5.6～現在)

【氏 名】 栗井康裕 (アワイ ヤスヒロ)

【職 名】 准教授

【学 位】 教育学士

【生年月日】 昭和 36(1961)年 5 月 18 日

【本学就任】 令和 4(2022)年 4 月 1 日

【略 歴】 北海道教育大学旭川校卒業 滝川市教育委員会教育部指導参事 (指導主事)  
滝川市立滝川第一小学校長

【専門分野】 教科教育学 (理科・算数数学)、教員養成、生徒指導

【担当科目】 理科指導法、算数概説、算数科指導法、教育課程論、教育方法論、職業研究 C、図書館概論、  
小学校教育実習Ⅱ、教職実践演習、ゼミナール A・B

【所属学会】 空知作文教育研究会、空知理科教育研究会、空知生徒指導研究会

【研究テーマ】 教職課程履修者の意識の醸成と教育実践に関する効果的な指導法について

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度 (5 点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「思考力・判断力・表現力を育てる授業の構築」～算数科における「数学的活動」を通して～	『滝川市立滝川第一小学校研究紀要』	令 3.11
論 文	単 著	教育実習に関する研究－教育実習を通じた意識の変化について	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 41	令 6.3

【平成 30 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	生徒指導ハンドブック第 6 集『いじめを克服する』	空知生徒指導研究会	平 9.3
著 書	共 著	生徒指導ハンドブック第 7 集 子どもの心をつかむ	空知生徒指導研究会	平 11.3
論 文	共 著	異学年交流の中で自然に学ばせる ICT の有効活用と情報モラル～学校行事への取り組みの中で～	『深川市立一已小学校成果報告書』	平 23.4
論 文	共 著	「人権教育の発想を生かした教育活動の推進」	由仁町立由仁小学校人権教育推進事業成果報告書	平 24.4

【最近の社会的活動】

北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員 (令和 5.4～現在)

北海道教育庁空知教育局子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員（令和 5.4～現在）

滝川市子ども・子育て会議委員長（令和 6.6～現在）

滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価委員会委員長（令和 5.4～現在）

滝川市まち・ひと・しごと創生会議委員（令和 5.12～現在）

長沼町いじめ防止専門委員会委員（令和 5.12～現在）

北海道滝川高等学校学校評議員（令和 5.4～現在）

空知作文教育研究会顧問（令和 4.4～現在）

滝川市環境市民委員会副委員長（令和元.7～令和 3.7）

【氏 名】 山川俊巳 (ヤマカワ トシミ)

【職 名】 准教授

【学 位】 教育学士

【本学就任】 令和5年(2023)4月1日

【略 歴】 北海道教育大学旭川分校教育学部小学校教員養成課程(理科)卒業

.....  
【専門分野】 教育学

【担当科目】 教育原理、教師論、教育相談、理科概説、特別活動論、総合的な学習の時間、総合的な学習の時間と特別活動の指導法、進路指導とキャリア教育の基礎、ゼミナールA・B

【所属学会】 北海道中学校理科教育研究会

【研究テーマ】 理科教育・学校経営

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[令和元年度～令和5年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
研究紀要	単著	できることを伸ばす学校づくり	北海道中学校長会誌 「全道中」	令和4年3月
研究紀要	共著	小規模・複式学級の特性を生かした学級経営と学習指導の深化・充実をめざして	旭川市小規模・複式教育研究連盟「足跡(第46集)」	令和4年3月

【平成30年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	中学校第2分野(生物的領域)における身近な素材の教材化の検討	北海道立理科教育センター研修集録	平成10年9月
論文	単著	生徒の思考の過程を大切に、科学的な見方や考え方を育てる理科学習	日本科学教育学会研究会研究報告 Vol.20	平成18年2月

【最近の社会的活動】

旭川市小規模・複式教育研究連盟会長(令3.4~4.3)

北海道中学校理科教育研究会顧問(~現在)